

第30回マルちゃん杯九州少年柔道大会 実 施 要 項

1 目 的

本大会は、九州少年柔道修行者間の交流や多くの選手との試合等を通じて心身の鍛錬及びその技能を磨き明るく、正しく、たくましく生き抜く力を身に付けさせるとともに、競技力向上並びに一層の底辺拡大を図ることを目的とする。

2 主 催

宮崎県柔道連盟 東洋水産株式会社

3 主 管

宮崎地区柔道会 宮崎県柔道場連盟

4 後 援

(公財) 全日本柔道連盟 九州柔道協会 宮崎県教育委員会
(公財) 宮崎県体育協会 宮崎市 (公財) 宮崎市体育協会 宮崎日日新聞社
読売新聞社 UMK宮崎 MRT宮崎放送 (株) エーコープみやざき
ベースボールマガジン社「近代柔道」

5 日 時

(1) 少年柔道教室 (参加自由)

- ① 日時 平成27年6月27日(土) 15時00分～17時00分まで
- ② 場所 KIRISHIMAツワブキ武道館(宮崎県武道館)
主道場 (宮崎自動車道IC～8分大駐車場有り)
宮崎市大字熊野2206-1 Tel0985-58-5151
- ③ 講師 六段 中村行成
四段 杉本美香

(2) マルちゃん杯九州少年柔道大会

- ④ 日時 平成27年6月28日(日)
開場 8時00分
審判監督会議 8時20分
開会式 9時00分 (全チーム参加)
試合開始 9時20分～
終了予定 16時30分 (予定)
- ⑤ 場所 少年柔道教室に同じくKIRISHIMAツワブキ武道館 主道場

6 参加資格

- (1) 対象は小・中学生とし、現に各加盟団体の市町村の小・中学校に在学している者であって、「学校」・「道場」・「クラブ」・「スポーツ少年団」単位とする。なお、監督は、参加選手の大会出場意思確認及び健康状態を把握し、保護者並びに団体の承認を得ること。ただし、医師の健康診断書の添付は不要とする。
- (2) 出場チームは、所属の指導者が、必ず1名監督として引率すること。勝敗にこだわり、選手を臨時に他のチームから移籍する等の行為があった場合には、そのチームを失格とし、今後の本大会への出場を認めない。
- (3) 監督、チームとも平成27年度全日本柔道連盟登録を完了しておくこと。

(指導者、競技者、団体登録を含む)

(4) 脳震盪対応について

ア 大会1ヶ月前以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け出場の許可を得ること。

イ 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(なお、至急専門医[脳神経外科]の精査を受けること)

(5) 皮膚真菌症(トングランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において的確な治療を行うこと。

万が一、皮膚真菌症の感染が判明した場合は、大会に出場できない場合もある。

7 試合種目

団体試合とし、小学生の部、中学生男子の部、中学生女子の部の3部制とする。

(各種目において1団体につき1チームを上限とする。ただし開催県については2チームを上限とする)

8 チーム編成

(1) チームの編成

ア 小学生・中学生男子の部 監督1名、選手5名、補欠2名の計8名とする。

イ 中学生女子の部 監督1名、選手3名、補欠1名の計5名とする。

*男女の混合のチーム編成は、小学生の部のみとし、中学生は認めない。

(2) オーダーの編成

選手のオーダーは、段、級自由であるが、事故防止のため、体重の重い順に大将から配列するものとし、チーム編成を満たさない場合(欠員)及び怪我等により補欠起用が生じた場合でも、改めて体重の重い順に大将より配列すること。

また、試合中に負傷等で欠員が生じ5名の編成ができない場合も、大将から順に配列し、最も軽い位置を欠員とする。

【例】*チーム編成が4名の場合は、大将・副将・中堅・次鋒とする。(体重重い順)

*チーム編成が3名の場合は、大将・副将・中堅とする。(体重重い順)

(3) 選手変更

ア 選手(補欠を含む)申込提出後の変更は、原則として認めない。

イ 選手の負傷等をやむを得ない場合は、所属長、医師の印を付した書類を大会一週間前までに大会事務局に提出し、承認を得ること。(様式は問わない)

ウ 当日試合中に負傷し変更する場合は、補欠より補充し8の(2)に従い編成する。

エ 負傷等により変更となった選手は、以後の試合に出場できない。

オ 試合当日の選手変更については、大会本部の選手変更係から用紙(複写式)を受け取り係に提出すること。

9 試合方法

(1) 試合は国際柔道連盟試合審判規定(2014年1月実施しているもの)及び少年大会申し合わせ事項による。

(2) 試合時間は2分とする。但し小学生の部における決勝戦及び中学生の部における準決勝以上は3分とする。

- (3) 勝敗の決定基準は「一本」「技あり」「有効」「僅差」とする。「僅差」とは双方の選手間に技による評価（技あり・有効）がない、又は同等の場合、「指導」差が2以上あった場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。得点差がなく、かつ「指導」差が1以内の場合は「引き分け」とする。
- (4) 試合は、各部ごとのトーナメント戦で行う。
- (5) チーム間の勝敗は次のとおりとする。
 - ア 勝者数の多いチームを勝ちとする。
 - イ アで同等の場合は、「一本勝ち」（それと同等の勝ちを含む）による勝者の多いチームを勝ちとする。
 - ウ イで同等の場合は、「技あり」による勝者数の多いチームを勝ちとする。
 - エ ウで同等の場合は、「有効」による勝者数の多いチームを勝ちとする。
 - オ エで同等の場合は、代表選で勝敗を決する。
- (6) 代表戦においては、通常の試合時間（2分、ただし、小学生の部決勝戦、中学生部準決勝以上は3分間とする。）の試合を行い、得点差がなく、かつ「指導」差が1以内の場合は旗判定で勝敗を決する（GSは行わない）。出場する選手は、「引き分け」であった対戦の中から1試合を抽選で決定する。

10 表彰

- (1) 各部門別優勝、準優勝、第3位（2チーム）には宮崎県柔道連盟及び東洋水産株式会社から賞状、優勝杯（トロフィー）、副賞を授与する。
- (2) 入賞チームの中から最優秀選手を選考し各部門1名にフレッド・ワダ杯を授与する。
- (3) 入賞チームの中から優秀選手を選考し小学生・中学生男子の部5名中学生女子の部は3名に優秀選手賞を授与する。
- (4) 出場選手全員に東洋水産株式会社から参加賞を授与する。
- (5) 平成27年度マルちゃん杯全日本少年柔道大会への派遣

〈9月22日（火・祝）東京武道館 東京都足立区綾瀬3-20-1〉

小学生の部上位4チーム

中学生男子の部上位6チーム〈5位決定戦（2チーム）を行う〉

中学生女子の部上位2チーム

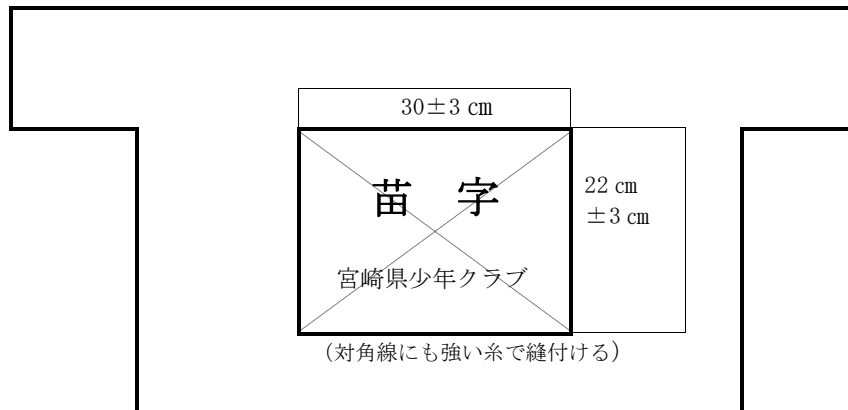
* 全国大会出場者は今大会のプログラムメンバーに限る。

* 同一所属でA・B複数チームが出場していても、全日本少年柔道大会への派遣は1チームのみとする。

11 ゼッケン

- (1) 登録選手は、柔道衣背部にチーム名、苗字（姓）入りのゼッケンを次の基準により縫い付ける。ゼッケンのついていない選手は原則として出場できない。
- (2) チームに2名以上の同じ名字（姓）選手の場合は、名前の一字を加える。
- (3) 布地は白色
- (4) サイズ～ 横30 ± 3cm（体格に合ったサイズで可）
縦22 ± 3cm 対角線にも強い糸で縫い付ける
- (5) 名字（姓）は上側2/3、

- 所属名は 下側1/3(全柔連の団体登録名を横書き)
 (「中」は入れなくてもよいが、自由とする。)
- (6) 書体は、太いゴシック体、明朝体(楷書)*毛筆体含む
 男子は、黒色、女子は濃い赤色、又は朱色
- (7) 縫い付け場所～上衣の後ろ襟から10cm下部に位置する場所



12 参加申込及び申込期限

- (1) 申込期限 **平成27年5月2日(土) 必着**
- (2) 参加申し込みは、資料(別紙)参照の上、E-mail送信と参加申込書を提出ください。

(参加申込書は、宮崎県柔道連盟ホームページからでも、ダウンロードできます)

申込郵送先(問い合わせ先)

〒880-0805 宮崎市橘通東1丁目5-8

グリーンリッチ宮崎 501号(宮崎県柔道連盟)

マルちゃん杯九州少年柔道大会事務局

TEL 0985(26)7415

E-mail miyazaki.judo.taikai@gmail.com

(注)トラブル防止のためFAXでの参加申込は受け付けない。

13 抽選

平成27年5月16日(土)大会事務局において宮崎県柔道連盟及び東洋水産株式会社の関係者立会の下に行う。

14 参加料

大会参加料は、無料とする。

15 審判・監督会議

平成27年6月28日(日)大会当日 8時20分～武道館2階会議室

参加チームの監督又は責任者及び審判員は、出席すること。事情により出席出来ない場合は申し合わせ、協議を了承したものとして取り扱う。(協議決定事項等の資料は、大会当日にも準備する)

16 傷害保険(東洋水産株式会社)

- (1) 参加者全員を主催者負担で傷害保険に加入する。なお、責任者は、大会出場に当たり事前に選手の体調の異常がないことを確認しておくこと。
(選手は、健康保険証「コピー可」を必ず持参すること)
- (2) 大会中の不慮の負傷、疾病については応急措置を施すが、保険対象範囲以外の責任は負わない。万一、事故の発生に備え、各チーム独自で傷害保険等に加入するなどして万全の対策をたてておくこと。

17 宿泊等の斡旋

宿泊・昼食希望のチームは、別紙、「宿泊要項」に必要事項を記入し下記「宿泊等取り扱い問い合わせ先」に直接、郵送若しくは、FAXにて申し込むこと。

(FAX申込は、必ず担当者が、送信確認をとること。)

宿泊先については、後日、下記業者から、「予約回答・お支払いのご案内」の関係書類を送付する予定。

◎ 宿泊等取り扱い・問い合わせ先
名鉄観光 マルちゃん杯少年柔道大会(担当/井上)
〒880-0001 宮崎市橘通西2-4-20 アクア宮崎ビル内
TEL (0985) 26-1414 FAX (0985) 20-7355

18 その他

- (1) 大会中に脳震盪を受傷した当該選手の指導者(監督)は、大会事務局に速報するとともに、大会事務局及び全柔連に対して書面により事故報告書(発生状況、事後経過処置)を提出すること。
- (2) 選手・保護者・応援者の昼食は別紙申込書において申し込むこと。
(費用はチーム、自己負担)
- (3) 出場チームの大会会場への入場については、監督1名、選手7名の計8名(中学生女子は計5名)とする。
- (4) 監督の服装は、審判員に準ずることとし、著しく反することは認めない。
- (5) 柔道精神(マインド活動)に反する行為、言動、応援等については厳正に対処する。
- (6) 各チーム、及び関係者の皆様には、開会式・閉会式を含む式典や、大会運営進行について柔道精神に基づいた姿勢・行動をお願いします。
- (7) 申込書に記載されている事項(氏名・体重)は、大会プログラムに掲載されるとともに大会における試合(人物風景など)、表彰時の写真等が、新聞、雑誌、ホームページ等に掲載される事については、予め了承されたものとして取り扱いをさせていただきます。ただし、特別の事情のある場合は大会事務局に申し出る

以上